

オリンピック 冬季大会初の全放送HD配信

バンクーバーオリンピックのHD映像制作に当社の放送機器を使用



Panasonic

Official Worldwide
Olympic Partner

北京に引き続き「DVCPRO HD」シリーズや「P2HD」シリーズで撮影

当社の放送用半導体メモリー映像収録システム「P2HDシリーズ」やHD放送機器・システムが、カナダ・バンクーバー冬季オリンピック大会の映像制作に、同大会のホストブロードキャスターであるOBSV（Olympic Broadcasting Services Vancouver）に使用されることになりました。また、北京オリンピック同様に当社放送用HDデジタルVTR「DVCPRO HDシリーズ」が、バンクーバーオリンピックでも記録フォーマットとして使用されます。

これらにより、2010年2月にカナダ・バンクーバー市内のバンクーバー・コンベンション&エキシビションセンターに設置される国際放送センター（IBC）から、世界の契約放送局に配信される国際映像がすべてHD（1080i）による制作・配信になります。北京オリンピックに続き、全面的にHD機器が使用される初の冬季大会となります。

1992年のバルセロナ大会以来、過去9回にわたり映像記録フォーマットとして使用された当社のデジタル放送技術により、バンクーバーオリンピックでも、より臨場感のある高画質・高音質HD映像をお茶の間にお届けする予定です。

当社の放送機器開発を担当するAVCネットワークス社 システム事業グループ 下水流正雄ビジネスユニット長は次のように述べています。

「当社は、1992年のバルセロナ大会より公式放送機器サプライヤーとして、最新技術でオリンピックの映像記録の歴史に貢献してきました。HD時代においても、実績のある「DVCPRO HDシリーズ」に加えて、最新の動画像コーデック「AVC-Intra」を搭載した「P2HDシリーズ」といったテーブルスHD放送機器をバンクーバーオリンピックのために準備しています。

特に「P2HDシリーズ」はITとの親和性が高く、テープなどの他のメディアと比較して高速かつ効率的なワークフローを実現します。また、従来のVTRやディスクシステムに比べメカレスで交換部品が少なく済み、使用済みテープのような廃棄物も大量に発生しないため、地球環境にも配慮した製品と言えます。高い環境志向をもつバンクーバーオリンピックで、放送機器でも環境に貢献できると考えています。」

OBSVのマノロ ロメロCEOは次のように述べました。

「バンクーバーオリンピックは北京オリンピック同様すべての映像がHDで放送されます。北京での経験が今回のバンクーバーでも生かされるでしょう。私たちは、より臨場感にあふれた高画質なHD放送を、確実にかつ効率的に、全世界の視聴者の皆様に送り届けます。」

当社の先進HD放送技術によって、カナダからバンクーバーオリンピック大会の感動と興奮を、デジタルハイビジョンテレビ「VIERA」やホームシアターシステムを通じて世界中の人々が共有することでしょう。また、HD映像はブルーレイディスクレコーダー「DIGA」に録画して、いつでもオリンピックの臨場感を再現することができます。

【TOPスポンサーについて】

当社は、国際オリンピック委員会のTOPプログラムが始まった1988年カルガリー冬季オリンピック大会以来、世界平和の実現を目指すオリンピック・ムーブメントの趣旨に賛同し、映像音響カテゴリーのTOP（The Olympic Partner）として、20年以上にわたりオリンピック活動に貢献してきました。そして、これからも世界中の人々とオリンピックの感動を分かち合う「Sharing the Passion」をスローガンに、当社は技術を通じてオリンピックの成功に貢献していきます。

2007年、当社は2016年夏季オリンピック大会までの長期パートナーシップに調印しました。